

人間科学科について知りたい方のための



フリーペーパー『らいふみる』



2026年版 第 4 号

こんにちは！らいふみるです。梅雨が明け、毎日厳しい暑さが続いています。春学期の授業も残りわずかとなり、人間科学科の学生たちからは夏休みの予定に関する話題も聞こえるようになりました。アルバイト、インターンシップ、旅行など、それぞれ充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

さて今回は、人間科学科の学びを深めるために重要な「専門演習」と「卒業論文」についてご紹介します。専門演習と卒業論文は、各専門分野の少人数制のゼミで、特定の研究領域をしっかりと学ぶためのものです。同じゼミに所属する学生たちは、ゼミ活動を通じてより深い関係性を築いていきます。

では、人間科学科のゼミにはどのような特徴があるのか、詳しくみていきましょう！



学科キャラクター らいふみるくん

【人間科学科の学びを深める： 専門演習と卒業論文】

大学でもっとも重要な授業の一つが、3・4年次に履修するゼミです。人間科学科では、3年次にゼミにあたる「人間科学専門演習Ⅰ・Ⅱ」を履修し、心理学・社会学・身体科学の各分野を専門とする少人数のゼミで、特定の研究領域を深く学びます。この1年間の学びを土台として、4年次には学びの集大成となる「卒業論文」に取り組みます。

このように、3年次からは特定の分野のゼミに所属しますが、人間科学科は、4年間を通じて「Life(生活・生命・人生)」を学びのテーマとし、各分野の知を結集することで、Lifeを多角的・複眼的・複合的にとらえることを目指しています。さまざまな講義科目や演習科目での学びをしっかりと定着させながら、専門演習ではより専門的かつ具体的に、個別のテーマや事象を考察・分析する力を養うための指導をしています。

【人間科学専門演習】



人間科学科では、3年次に専門ゼミである「人間科学専門演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。心理学・社会学・身体科学の各分野を専門とする教員が、ゼミごとにテーマを設定し、1年間かけて少人数での授業を行います。ゼミは講義科目とは異なり、専門書の輪読や特定のテーマに関するディスカッションを中心にしています。また、ゼミで課題を設定し、予備的な実験や調査を実施してレポート・報告書をまとめるなど、4年次の卒業論文につなげるためのトレーニングを積みまします。ゼミのメンバーで切磋琢磨しながら、専門分野の知識・方法を身につけることを目指します。なお、人間科学科では、専門演習と卒業論文の指導は同一の教員が行うため、2年間にわたり一貫した指導を受けることができます。

【2026年度の専門演習のテーマ】

荒生弘史ゼミ	生理・行動指標による心の探究とその応用
荒川康ゼミ	論理的に社会と向き合う感覚をつかむ
池田心豪ゼミ	現代社会で「働くこと」を考える
井関龍太ゼミ	認知心理学の研究法を学ぶ
内田英二ゼミ	生活習慣が及ぼす身体的・心理的影響について研究する
内田雄ゼミ	身体活動・運動を測定・評価する
河合恭平ゼミ	社会学の理論と方法の理解を深め、活用する
木村豊ゼミ	生きることの社会学、生きるための社会調査
澤口恵一ゼミ	食をめぐる社会学の冒険
谷田林士ゼミ	利他的行動についての心理学実験・調査
畑山直子ゼミ	人びとの人生における選択とタイミングを社会学的に考える



興味深いテーマが
並んでいますね！！

【専門演習紹介：畑山ゼミ(社会学)】

畑山ゼミでは、現代社会における諸個人のライフスタイルや人生の選択を社会学的に考察するために、春学期には社会学の歴史・理論に関するテキストと、エスノグラフィーの手法をめぐる文献の輪読を行っています。また、秋学期にはゼミのテーマに関連した主題を設定し、実際に生活史調査を実施する予定です。2025年度は、現代日本のライフスタイルと貧困の問題を主題として、春休みに沖縄県内でゼミ合宿を行いました。



2026年6月7日の鴨台祭学科企画のブースで、2025年度ゼミ合宿の展示を行いました！

人間科学科の卒業論文は、3年次に履修する「人間科学専門演習I・II」での学びを土台とします。多くのゼミでは3年生のときから、4年生の中間報告を聞いたり、卒業論文のテーマに関する報告を行うなど、卒業論文への準備を始めていますが、4年生になると、いよいよ本腰を入れて卒業論文と向き合うことになります。卒業論文は4年間の学びの集大成であり、テーマの決定、先行研究の把握、リサーチ計画の決定、データの収集、分析、執筆までを自分自身で行うことが求められます。担当教員の指導・サポートを受けながら研究テーマと格闘し、納得のいく卒業論文に仕上げていきます。

●心理学の卒業論文

心理学系のゼミで執筆される卒業論文では、ゼミごとの特色を背景にしながら、個々の学生の問題意識を反映したテーマが並びます。手法としては、自ら実験や調査をデザインし、取得したデータをもとに主張を展開するものや、先行研究のデータの二次分析をおこなうもの、新旧の文献を幅広くレビューするもの、などがあります。どのようなタイプの卒論でも、基礎概念・理論やこれまでの研究の枠組みを振り返りながら、自分の研究を位置づけることを大切にしています。

●社会学の卒業論文

社会学系のゼミで卒業論文を書く学生のテーマは、ユニークかつ非常に多岐にわたります。大切なのは長期間にわたり自分が真剣に取り組めるテーマを選ぶことです。また、これまでの社会学者たちが取り組んできた問題や概念を使って分析できるテーマであることも重視しています。リサーチの方法は多様で、質問紙調査、インタビューや観察、そしてさまざまな文化的創作物についての内容分析などが行われています。

●身体科学の卒業論文

身体科学系のゼミに所属する学生は、多様な生活習慣が身体に及ぼす影響をテーマに卒業論文を執筆します。研究では実験や測定、調査などを活用しますが、複数の方法を用いて多面的な検討を行う学生も多くいます。関心のあるテーマにもとづいた研究計画を考え、予備実験や予備調査を行ってから、本実験、本調査に進み、卒業論文を仕上げています。

【2025年度卒業論文一例】

- 音楽と消費者行動の心理的メカニズム
- 画像特徴量の観点から見たモネの画風変化の検討
- 親密度や開示性に作用する友人グループ内の強制力—高校以前と大学以降の友人グループについての比較検討—
- ピアスと化粧の違いが人物の印象評価にもたらす影響について—女子大学生の画像による実験的研究
- おしゃれからちょうどいいヘーユニクロが映す現代の日本社会—
- 日本の労働効率化における見えない非効率—隙間時間の減少とブルシット・ジョブ—
- 女子高校生の通学コーディネートに関する考察—服装が自由な高校を卒業した人びとの語りから—
- 女子大学生におけるぬい活の意味づけ
- 差別の深層に関する現象学的考察
- 大学生における音楽聴取と運動実施がストレスの回復に及ぼす影響

【人間科学科のおすすめの本】



人間科学科の先生たちが皆さんにおすすめする本のタイトルの一部を下記に列挙しました。その中から、いくつかおすすめのポイントをご紹介します。

まず心理学では、デイヴィッド・イーグルマン『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』を、近年の脳科学・神経科学の知見を楽しみながら振り返りたい方や、人間観を考えてみたい方におすすめしています。次に社会学のおすすめは、奥村隆『反コミュニケーション』です。自称コミュニケーション嫌いの著者が、学生と高名な社会学者たちとの架空の対談を通して、コミュニケーションとは何かに迫ります。身体科学からは、NHKスペシャル取材班『健康格差 あなたの寿命は社会が決める』がおすすめです。誰でも享受できるはずの健康もすべての世代で格差があるという実態に対して、国内外の事例を丁寧に分析・考察した取材班の意欲が感じられます。

◆おすすめの本のタイトル◆

— 心理学 —

- ・ デイヴィッド・イーグルマン『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』早川書房、2016年。
- ・ ロジャー・R・ホック『心理学を変えた40の研究——心理学の“常識”はこうして生まれた』ピアソンエデュケーション、2007年。
- ・ 山岸俊男監修『徹底図解 社会心理学——歴史に残る心理学実験から現代の学際的研究まで』新星出版社、2011年。
- ・ 外山紀子・長谷川智子・佐藤康一郎編『若者たちの食卓——自己, 家族, 格差, そして社会』ナカニシヤ出版、2017年。

— 社会学 —

- ・ 奥村隆『反コミュニケーション』弘文堂、2013年。
- ・ ユン・ウンジュ『女の子だから、男の子だからをなくす本』エトセトラブックス、2021年。
- ・ 見田宗介『社会学入門——人間と社会の未来』岩波書店、2006年。
- ・ 松永伸太郎『アニメーターはどう働いているのか——集まって働くフリーランサーたちの労働社会学』ナカニシヤ出版、2020年。

— 身体科学 —

- ・ NHKスペシャル取材班『健康格差 あなたの寿命は社会が決める』講談社、2016年。
- ・ 杉浦敏之『死ねない老人』幻冬舎、2022年。

— その他の関連領域 —

- ・ 村上陽一郎『あらためて教養とは』新潮社、2009年。
- ・ ピーター・バーク『知識の社会史——知と情報はいかにして商品化したか』新曜社、2004年。

2026年度 オープンキャンパス 人間科学科 模擬授業(予定)

3月21日(土)	心理学: 長谷川先生 ※終了しました!
5月31日(日)	心理学: 荒生先生 ※終了しました!
6月28日(日)	心理学: 谷田先生 社会学: 荒川先生 ※終了しました!
7月26日(日)	心理学: 荒生先生 身体科学×社会学 : 内田英二先生、澤口先生 本日のオープンキャンパス の模擬授業はこちら!!
8月22日(土)	心理学×社会学 : 井関先生、木村先生 社会学: 池田先生
9月12日(土)	身体科学: 内田雄先生 社会学: 畑山先生

【編集後記】

- ◆ 『らいふみる』2026年版第4号(2026年7月26日発行)をご覧ください、ありがとうございました。今回は人間科学科の専門演習と卒業論文についてご紹介しました。次号は、人間科学科の学生の進路や在学中に申請・取得できる資格についてご紹介する予定です。どうぞご期待ください。
- ◆ 『らいふみる』は大正大学人間学部人間科学科について知りたい方のためのフリーペーパーです。本冊子の記事や写真などを無断で複製・転載しないようお願いいたします。
- ◆ 人間科学科ブログ: https://www.tais.ac.jp/faculty/departments/human_sciences/blog/

